

2000.12/27

X-C-Ski in 峰山

晴れ / 曇り

大塚賢一

*** 峰山XC Ski 独り占め ***

今世紀最後のXCスキーをバージンスノーの峰山で独り占めしてきました。我が家から1時間足らずで別世界へ・・・。

昨日、22時頃バイトからの帰り空から白いものが舞っているではないか！、不況の影響で27日から本業が休みに入り、「これは明日は峰山XCやっ！」と、その日の疲れは何処へやら、気持ちはすでに峰山に・・・。

峰山の麓の村には朝日があたり素晴らしい雪化粧をほどこしてお出迎えである。お天気は多少雲があるものの真っ青の青空も顔を覗かせている、おまけに無風である。

簡保への分岐からの4kmの道路は真っ白でガチガチに氷雪している、早速チェーンを装着して白銀

の世界へと・・・、ルンルン気分である。この高原の簡保は不況の影響で今年の2月に閉鎖され取り壊されているので一体今はどうなっているのかが



この中を板を走らす



峰山山麓の夜明け



雪花乱舞

気になる所である。以前までは心地よくかいた汗をこの高原のトロン温泉につかって癒していたものだが、残念である。

高原への入り口は完全に鉄パイプ扉でバリケードが張られ、全く車は入れない状態であった。しかしいつもの空き地に止められ、そこからXCスキーを林道へと走らせる。

平日なのでジープのワダチも全く無く25cmは積もったバージンスノーを蹴散らしながらこの広い高原を全く人にも合わなく独り占めである。

無風なので、ただただ聞こえるのは雪を蹴散らす音と、熊よけのカウベルの音そして「ハアハアゼエゼエ」の息づかいの音だけである。ひとたび止まれば静寂に包まれた白銀の世界からどこからともなく小鳥たちのハーモニーが聞こえてくる・・・こんな贅沢な世界を独占している。

コースは、高原の外周を回り登山道に入り、暁晴山を往復、約20kmと最高に満喫した半日であった。当然昼は雪を溶かしての極上ラーメンで腹も満喫であった。



動物と一緒に